

口腔病理専門医講習会 II (唾液腺)

【演題】 唾液腺腫瘍診断の進め方 淡明細胞性腫瘍に注目して

【講師】 矢田 直美 (九州歯科大学健康増進学講座口腔病態病理学分野)

唾液腺腫瘍は比較的まれな腫瘍であり、組織型が多く、その中でも多彩な像を呈するため、病理診断に苦慮する。診断を行っていく上で、特徴的な構造と細胞をとらえることが重要である。特徴的な構造と細胞から、鑑別診断を挙げ、特殊染色、免疫染色などを選択し、その結果をもとに診断を進めていく。

本セミナーでは、唾液腺腫瘍を診断するための概説を行う。実際の症例を用いて腫瘍を診断する上での注意事項と、今回は特に淡明細胞性腫瘍を中心に鑑別診断の進め方について言及させていただく。

*セミナーでは、組織標本を事前に配布し、解説予定である。

【略歴】

平成 11 年 3 月 長崎大学歯学部歯学科 卒業

平成 11 年 4 月 大分医科大学 (現在大分大学医学部) 歯科口腔外科医員(研修医)

平成 16 年 6 月 大分大学医学部大学院博士課程 卒業

平成 16 年 7 月 大分大学医学部歯科口腔外科医員

平成 18 年 4 月 大分大学医学部附属病院検査部(病理部)医員

平成 20 年 4 月 大分大学医学部診断病理学講座助教

平成 24 年 4 月 九州歯科大学健康増進学講座口腔病態病理学分野 助教

平成 27 年 1 月 同大学 准教授 現在に至る

資格 口腔病理専門医, 細胞診専門歯科医

【Title】 Pathologically diagnostic process of the salivary gland tumors, focusing on clear cell type tumors.

【Lecturer】 Naomi Yada, Division of Oral Pathology, Department of Health Promotion, Kyushu Dental University

Salivary gland tumors are relatively rare and many classification and diverse histomorphological features. Histomorphological diagnosis of salivary gland tumors can be difficult in view of the wide spectrum of histologic changes. In this seminar, I'll summarize the general information of diagnostic clue of the salivary gland tumor pathology and highlight salivary gland differential diagnoses when presented with clear cell changes.

In this seminar, histological slides will be sent in advance.